

古墳時代の「石杵」状石製品について

—蒲生郡日野町播沢遺跡出土事例の紹介—

辻川 哲朗

目次

1. はじめに
2. 遺跡の概要
3. 事例の情報
4. 事例の検討
5. おわりに

— 論文要旨 —

平成 29 年度から令和元年度にかけて、滋賀県蒲生郡日野町三十坪等地先に所在する播沢遺跡で発掘調査を実施した。当該調査の報告書に報告を遺漏した「石杵」状石製品について報告する。出土遺構・出土状況・本体にのこされた器面痕跡等を検討した結果、本例は古墳時代前期の円筒形石製品で、両端面に作業面をもち、片手で保持しつつ、端面で対象物を敲打もしくはすり潰すさいに使用された道具であると推定した。また、その位置づけとして、形状等の点から本石製品が朱精製に関連する道具の一つである「石杵」である可能性を指摘するとともに、それ以外に通有の磨石である可能性も否定できないと結論づけた。

——— キーワード

古墳時代 朱精製 石杵 磨石 播沢遺跡